

医学一般 S § 医学一般 SG

15220

担当者名 / Instructor 八田 文裕子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

本講義は社会福祉士を目指すものの必修講義として、医学・医療の基礎知識の習得を目的とする。

**到達目標 / Attainment Objectives**

社会福祉士の試験に合格する  
医療に従事するものとしての基礎知識を習得する

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	臨床医学の概観、人体の構造と機能	医学の歩み、解剖と生理
2	人体の各器官の構造と機能	細胞、血液、呼吸器、消化器・代謝、泌尿器、皮膚、循環器
3	人体の各器官の構造と機能	支持運動器、内分泌、神経、感覚器、生殖器
4	現代社会と疾病	先天性疾患、遺伝
5	感染症	伝染病予防法、新感染症法
6	感染症	性感染症、国際協力
7	結核、これからの感染症	結核、結核対策、麻疹・風疹、食中毒、疥癬、日和見感染
8	生活習慣病	一次・二次・三次予防、悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管障害、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症
9	高齢者に多い他の内科疾患、老化と身体的変化	腎疾患、老化現象、寿命、廃用症候群、寝たきり
10	高齢者の病気	痴呆・認知症、骨粗鬆症
11	高齢者の病気	変形性関節症、白内障、難聴、嚥下障害、褥瘡
12	公衆衛生	衛生行政、人口統計、人口動態、人口動態
13	精神保健	精神障害、分類、統合失調症、躁鬱病、アルコール精神病、症状精神病、パニック障害、脅迫性障害
14	精神保健	保健医療対策、精神保健福祉法、人権擁護、社会復帰

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

社会福祉士国家試験の問題集を自主学習すること

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	100 %	記述問題及び × 式問題

定期試験として実施。  
出欠の有無は問わない。定期試験の成績をもって評価する。  
授業で学習した内容から出題する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新版社会福祉士養成講座14「医学一般」	福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規 / 4-8058-2303-8 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>  
感染症情報センター <http://idsc.nih.gov/index-j.html>

**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 石橋 典子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

精神保健学で学んだ内容をふまえて、精神保健活動の場としての地域、学校、職場の特性をふまえてそれぞれの場面における精神保健活動のあり方を学習する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

精神保健活動に関する諸理論をふまえて、具体的な精神保健活動のあり方を分析・討論・報告することができる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

精神保健学の履修を終えていることを前提とする。

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1,2	人間にとっての精神とは	
3,4	精神保健とは	
5,6	精神を病むということ	
7,8	偏見のなかでつられた病像	
9,10	精神障害者の充実した生活とは	
11,12	当事者と家族の社会参加	
13,14	障害と共に生きるということ	
15	まとめ	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
最終講義日試験	60 %	

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

精神保健福祉士養成セミナー編集会編「精神保健福祉士養成セミナー第2巻精神保健学」(東京;へるす出版)  
 石橋典子「呆けを「仕舞」として」中央法規

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

## 授業の概要 / Course Outline

本概論では、福祉専門職として必要な介護に関する諸概念および専門知識と援助の方法について学習する。具体的には、今日の介護問題の背景と現状、介護保険制度を主とする社会施策の学習を通して、主として高齢者と家族を中心にその立場や状況を明らかにし、専門職の果たす役割・責任を理解する。さらに、要介護者のニーズに沿ったサービスに必要な視点として健康、生活、自律の概念を学習し、対象の理解、生活援助の意味と認識を深める。問題解決技法としての介護過程、寝たきり、認知症、終末期の対象者・家族に対する根拠に基づいた援助の基本、対象者・家族の生命、身体、精神、生活上の安全と人権尊重の重要性を理解し、専門職者としての責務について自覚を深める。

## 到達目標 / Attainment Objectives

1. 介護の概念や基本原則、介護の場や介護に係る専門職の種類と連携など介護の概要を理解する。
2. 今日の介護問題の背景と現状を理解することにより、介護対象者および家族の立場や状況に対する理解と認識ができる。
3. 人にとっての健康、生活、自律の意味、在り方を学ぶことにより、介護対象者・家族の生活援助の意義を認識できる。
4. 介護問題解決の方法論、援助技術の原理を根拠に基づき理解できる。
5. 寝たきり、認知症、終末期など特定領域別の対象者・家族の状況理解、援助の特徴と基本的な関わりの方法がわかる。
6. 対象者・家族の人権尊重の重要性および安全確保のための倫理的、法的根拠が理解できる。
7. 専門職としての理念、態度、在り方について理解でき、その責務を自覚する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本講義では、専門知識や関連情報、援助技術の学習に留まることなく、人に関する幅広い視点、多様で相対的思考でマクロに学習する立場で受講される事を希望する。また、社会福祉概論、社会福祉援助技術、ソーシャルワーク、高齢者福祉、家族社会学、医学一般など専門基礎科目の多くを履修している2年次以降の受講が望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	1. 介護の理解 1)介護の概念と歴史	介護の概念、介護の原則、介護の歴史
第2回目	2)今日の介護問題とその背景	高齢社会、介護問題、介護問題の背景
第3回目	2. 介護対象者の理解 1)人・対象者にとっての生活	人の生活、家族、地域、クオリティ・オブ・ライフ
第4回目	2)人・対象者にとっての健康	健康の概念、健康観の変遷、健康の意味
第5回目	3)人・対象者にとっての自律/自立	自律、自立、自立支援
第6回目	3. 介護のしくみ 1)介護の場(在宅、施設)	介護の場、施設、在宅
第7回目	2)介護を担う人と役割 3)保健・医療・福祉の連携	介護者、介護者の役割、保健・医療・福祉、専門職、連携
第8回目	4)介護保険制度の概要	介護の制度、介護保険制度、要介護認定、要介護、要支援、在宅サービス、施設サービス、介護予防
第9回目	4. 介護のスキル 1)介護(問題解決)過程 2)ケアマネジメントの方法	介護過程、問題解決技法、ケアマネジメント、ケアプラン
第10回目	2)ADL(日常生活)援助	ADL、IADL、援助の原則
第11回目	3)主な領域と介護 寝たきり高齢者と介護	寝たきり高齢者、寝たきりの予防、介護の方法
第12回目	認知症高齢者と介護	アルツハイマー病、脳血管性認知症、介護の方法
第13回目	終末期と死の捉え方	死の捉え方、尊厳死、安楽死
第14回目	5. 介護における倫理 1)対象者・家族の人権の保護 2)安全管理 3)介護専門職の責務	介護倫理、人権擁護、インフォームド・コンセント、意思決定支援、安全管理、専門職の責務

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

講義のレジュメ、資料および紹介した著書、文献などによる予習・復習などの自己学習。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	100 %	筆記試験により介護問題の背景、関連する専門知識、対象の理解、援助の方法論などの基本的理解、知識の修得状況を評価・判定する。
日常点・その他	0 %	6割(8回)以上の授業の出席を、定期試験の受験要件とする。

#### 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

提示した授業計画に沿って授業は進める予定である。教科書やレジュメによる事前学習および授業後の復習が、授業理解を円滑にする前提と考える。

#### 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新版社会福祉士養成講座14 介護概論	社会福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規出版株式会社 / 4-8058-2044-6 /

#### 参考書 / Reference Books

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

#### その他 / Others

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

本講義では、近年注目されているコミュニティ・ケアについて、歴史、方法、政策と課題の各方面から概要を解説する。広くは地域福祉論の一環でもあるが、対人的「ケア」と地域での展開に焦点を置いて、ケアマネジメント、資源とネットワーキング、地域に密着した課題を考察する。近年導入されたケアマネジメント、本年から実施される、改正介護保険法、障害者自立支援法も視野に入れる。

**到達目標 / Attainment Objectives**

「ケア」「コミュニティ」の概念の検討の上で、地域でのケアを必要とする人々が地域で暮らす上で持つ生活の困難性を理解する。「コミュニティケア」が政策的に登場した経過と背景を理解し、介護保険制度、障害者自律支援法などにおける地域ケアを検討する。地域からの住民の共同によるケアのありかたを、対人援助、地域活動、自治体の政策の各面から検討する

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

介護概論 地域福祉論

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・「ケア」と「コミュニティ」の考え方	
2	・コミュニティケア政策の歴史 欧米	
3	・「ケア」を必要とする高齢者・障害者・住民の状態(1)	
4	・「ケア」を必要とする高齢者・障害者・住民の状態(2)	
5	・障害者自立支援法の現状	
6	・ケアマネジメントの考え方と実際(1)	
7	・ケアマネジメントの考え方と実際(1)	
8	・地域の共同と資源・ネットワーク	
9	・日本におけるコミュニティ政策とコミュニティケア (1)1970年代～	
10	・日本におけるコミュニティ政策とコミュニティケア (2)2000年～	
11	・コミュニティケアの実際：地域支援事業関連	
12	・コミュニティケアの実際：地域支援事業関連	
13	・コミュニティケアの実際：ケアマネジャー	
14	・コミュニティケアの実際：地域の自主的活動	
15	補講	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	筆記試験による。社会福祉の方法と政策の両面から理解を問う。
日常点・その他	20 %	コミュニケーションペーパーなどにより問題関心の涵養をみる。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

受講生への学習に関するアドバイス / Educational advice for enrolled students

コミュニティケアと今日政策的焦点である小地域密着型の高齢者施策展開、障害者の地域支援活動に関心を払い、日常的に現実を把握するよう努めてください。

**教科書 / Textbooks**

指定しない。

**参考書 / Reference Books**

参考書は授業中に随時紹介します。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

社会福祉活動(ソーシャルワーク)の総括原理を以下の内容で講義する。社会福祉活動(ソーシャルワーク)の対象である対人援助課題、社会福祉課題、生活問題の現実と出現経路を学び、公的社会福祉制度と社会福祉活動(ソーシャルワーク)との必要性を学ぶ。社会福祉活動(ソーシャルワーク)の概要・体系と社会福祉制度と社会福祉活動(ソーシャルワーク)の関係を学ぶ。社会福祉活動(ソーシャルワーク)展開、関連する方法・技法の基本的な知識と社会福祉援助活動の共通課題を学ぶ。社会福祉活動の場・従事者の実情を学。社会福祉活動の構造を国民生活の状況、改善を求めるイニシアティブ、国家による制度の関係を学ぶ。社会福祉従事者の現状と倫理を学ぶ。

**到達目標 / Attainment Objectives**

社会福祉活動の対象となる国民生活問題を理解する。社会福祉活動の原理と構造を理解する。社会福祉活動の基礎的知識と理論を理解する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

社会保障論、社会福祉六法に関する各福祉論(公的扶助論、老人福祉論など)

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	社会福祉援助活動を理解するための事例	対人援助課題
	社会福祉援助活動を理解するための事例	生活問題
	社会福祉活動を必要とする問題状況とその対応	
	社会福祉活動諸次元	
	社会福祉活動と制度	
	社会福祉活動の場と機関・人材	
	社会福祉活動のレパトリー(1)	
	社会福祉活動のレパトリー(2)	
	社会福祉活動の歴史(1)	
	社会福祉活動の歴史(2)	
	社会福祉活動の理論(1)	
	社会福祉活動の理論(2)	
	生活問題と社会福祉活動	現代社会における社会福祉活動の課題
	生活問題と社会福祉活動の構造	
	社会福祉の「援助」と「技術」	
	生活問題と社会福祉活動	現代社会における社会福祉活動の課題

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	筆記試験による。
日常点・その他	20 %	随時のコミュニケーションペーパーによる。

・社会福祉課題の基本的性格と社会的対応としての社会福祉活動についての理解がなされているかを問う。  
 ・随時のコミュニケーションペーパーにより、社会福祉課題についての問題関心の涵養を問う。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

現実の社会福祉課題を知り、いかに対応すべきなのか、個人・家族・地域・自治体、国家の各レベルで主体的に考察してください。

**教科書 / Textbooks**

指定しない。

**参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
社会福祉方法原論	植田章・岡村正幸・結城俊哉 / 法律文化社 / /
社会福祉援助技術論	福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 石倉 康次

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

社会福祉サービスは、今日では私たちが地域で生活していく中で必要不可欠な社会サービスとなっている。しかし、必ずしもそのことが市民の常識とはなっていない。講義では、社会の変化の中で社会福祉サービスがしめる位置とその意義を具体的な事例を通して確認する作業を行う。

**到達目標 / Attainment Objectives**

社会の中での社会福祉サービスの位置とその役割について理解する。社会福祉制度の形成と変動の構造について理解する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

特になし

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	
2	人間社会の共同的性格と福祉的営み	ボノボの社会に学ぶ
3, 4	家族と地域社会の歴史的変容と育児・介護の社会化	複合家族、直系家族、核家族
5	格差社会の深化とその背景	貧困の社会的背景
6	暮らしを支える社会保障・社会福祉：こんなときあなたは どうする	出産手当、育児手当、医療保障、老後保障、障害者福祉
7	義務教育でとりあげられた社会保障	国民の権利と常識
8	社会福祉とは何？	社会福祉の二重の意味、生存権の今日的意味
9	地域社会の共同性と社会福祉：消費者被害で考える	地域社会、住民の共同性
10	社会福祉援助場面における自己と他者	ミードの自我概念
11	スティグマ・社会的逸脱と自助活動	逸脱的アイデンティティ
12	生涯発達と福祉・医療・教育	発達の季節
13	戦後日本の社会福祉の制度的展開と規制緩和	措置制度、利用契約制度
14	社会福祉への企業参加か？企業との共存か？	
15	試験	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

社会福祉、国民の暮らしにかかわるニュース、ドラマに注目してほしい。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	講義の理解度
レポート試験	10 %	課題の考察
日常点・その他	10 %	授業の出席

講義ではビデオを多く観るが、これが講義の理解を助けるし、得るところも多いはず。遅刻するとビデオのストーリーが見えなくなる。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

講義に出席し毎回提出する小レポートに取り組むことが大切。

**教科書 / Textbooks**

テキストは使わない。

**参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『福祉のひろば』	総合社会福祉研究所 / かもがわ出版 / 『福祉の新鮮な情報が満載の月刊誌
『社会福祉辞典』	/ 大月書店 / 『基礎用語の学習に役立つ

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/index.html> 認知症の人と家族の会: <http://www2f.biglobe.ne.jp/~boke/boke2.htm> 日本障害者センター: <http://shogaisha.jp/> 総合社会福祉研究所: <http://www.jfast1.net/~sosyaken/> 保育研究所: <http://www.hoiku-zenhoren.org/kenkai/index.html> 全国老人福祉問題研究会: <http://members3.jcom.home.ne.jp/0376228901/romonken/> 全国障害者問題研究会: <http://www.nginet.or.jp/> 全国児童養護問題研究会: <http://www.ne.jp/asahi/yomon/ken/>





社会福祉法制 S

12959

担当者名 / Instructor 山田 耕造

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
テキストブック現代社会福祉法制	山田耕造 編 / 法律文化社 / /
社会福祉小六法2007	ミネルヴァ書房編集部 / ミネルヴァ書房 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

## 精神医学 S § 精神医学I S

12926

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

福祉領域に関わるものにとっては、精神医学的知識は欠かせない。この講義においては、精神医学の歴史、精神医学の背後にある生物学的知識および心理学的知識を理解し、また、具体的な精神医学臨床で出現するの症状論の記述法を学習する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

精神医学の歴史の理解  
精神保健福祉士に必要とされる程度の脳の解剖学的、薬理的知識の習得  
精神症状を理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

受講生は精神障害リハビリテーション論S、リハビリテーション論 S、精神リハビリテーション学Sを受講することが望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	精神医学の歴史	
第2回	精神医学の歴史	
第3回	脳の解剖学	
第4回	脳の解剖学	
第5回	脳の生理学	
第6回	精神障害症状論	
第7回	精神障害症状論	
第8回	精神障害症状論	
第9回	精神障害症状論	
第10回	精神障害症状論	
第11回	精神障害症状論	
第12回	精神障害症状論	
第13回	精神障害症状論	
第14回	精神障害症状論	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	100 %	最終講義日試験の成績により判定する

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

精神保健福祉士資格の国家試験受験を希望する学生は必ず受講してください。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神医学	小谷憲司、谷野亮編集 / へるす出版 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 精神科リハビリテーション学 S § 精神リハビリテーション学II S

15233

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

前期の精神科リハビリテーション論では、精神科ソーシャルワーカーとして精神障害者のリハビリテーションに取り組む視座を明確にしスキルの概要を学ぶことに重点をおいた。精神科リハビリテーション学では、精神科リハビリテーションのプロセスや方法につき学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

精神科リハビリテーションを展開する上で必要な資源、プロセス、スキルに関する理解を深める。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神障害リハビリテーション論を履修しておくことが望ましい

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	はじめに:精神科リハビリテーションの歴史	ILO 呉秀三 治療共同体 生活臨床
第2回	精神科リハビリテーションの概念	リハビリテーション
第3回	精神保健福祉士が行う医学的リハビリテーション	集団精神療法 SST デイケア ナイトケア
第4回	精神保健福祉士が行う社会的リハビリテーション	生活のしづらさ
第5回	地域リハビリテーションのベストプラクティス	日本のベストプラクティス
第6回	カナダとイギリスにおける地域リハビリテーション	CALGARY model 住居サービス Alternative service ACT CPN
第7回	OTP(Optimal Treatment Project)と地域生活支援 地域リハビリテーションにとって必要な条件 -	多職種支援 統合的アプローチ ICF
第8回	ACT(Assertive Community Treatment)プログラムと重度精神障害者リハビリテーション	重度障害者 マディソンモデル、
第9回	精神科リハビリテーションのプロセス	計画 評価
第10回	精神科リハビリテーションのプロセス	評価尺度 QOL評価尺度 精神症状評価尺度 社会生活評価尺度
第11回	精神科リハビリテーションの場とアプローチの方法	病院 社会復帰施設
第12回	精神科リハビリテーションの場とアプローチの方法	地域
第13回	精神科リハビリテーションとケアマネジメント手法	ケアマネジメントの基本思想
第14回	精神科リハビリテーションとケアマネジメント手法	類型 活動の手順
第15回	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	
日常点・その他	50 %	出席状況と講義への参加姿勢を判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神科リハビリテーション学	日本精神保健福祉士養成校協会 / 中央法規 / 978-4-8058-2813-7 /
教科書は、精神障害リハビリテーション論(前期開講科目と共通)。なお、教科書は、精神科リハビリテーションの方が頻回に利用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神障害リハビリテーション学	蜂谷英彦 岡上和夫 他 / 金剛出版 / 4-7724-0663-8 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 精神障害者の人権とくらし S § 精神保健福祉論II S

12981

担当者名 / Instructor 泉 洋一

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

精神障害者の人権を擁護する社会福祉専門職としてPSWに必要な視点と理論をとりあげる。日本における精神障害者の人権侵害の事例をもとに権利擁護の担い手であるPSWが何をできるのかを考え、社会福祉学を基盤とするPSWの社会的使命と相談援助活動の実際について学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

精神病者および精神障害者の人権を擁護する理論と実践について理解し、クライアントとともに生活問題の解決を担う社会福祉専門職としての視点を培う。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入講義「精神病者および精神障害者の人権」	社会的排除および社会防衛の対象から障害者への変遷
第2回	世界人権宣言から国連原則まで	国際社会と日本との人権意識の乖離
第3回	精神医療における権利侵害の実態	宇都宮病院事件と国際法律家委員会の調査
第4回	精神医療における権利侵害の実態	大和川病院事件と善意のパターナリズム
第5回	精神医療審査会の機能と限界	医療モデルからリーガルモデルへの転換
第6回	地域社会における精神障害者の人権	欠格条項および地域-施設コンフリクト
第7回	当事者運動から何を学ぶか	スティグマや偏見をはね返す運動の力と支援者に求められる姿勢
第8回	精神障害者の社会的復権・権利擁護と福祉のための活動	PSWの歴史と社会的使命
第9回	PSWの専門性と価値・倫理	クライアントとともに歩む関係性
第10回	権利擁護の担い手としてのPSW	Y問題の提起とPSWのアイデンティティ
第11回	相談援助活動について	人と環境を捉える視点、生活障害と生活問題
第12回	相談援助活動について	危機介入と受療援助の問題について
第13回	相談援助活動について	機関・施設における相談援助の実際
第14回	総括講義「精神障害者の人権とくらし」	ソーシャルワークの定義とPSWの活動

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

テキスト・参考書を読むことが学習の第一歩となる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	出席状況と受講態度

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

講義に出席し、積極的に質問すること。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『精神保健福祉論』精神保健福祉士養成セミナー改訂第3版第4巻	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 / へるす出版 / ISBN4-89269-524-6 /

教科書を必ず購入すること。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『精神障害者の人権』	国際法律家委員会編 / 明石出版 / ISBN 4-7503-9845-5 /
『精神医療と人権 - 日本収容所列島』	戸塚悦朗・広田伊蘇夫編 / 亜紀書房 / /
『これからの精神保健福祉』精神保健福祉士ガイドブック第3版	日本精神保健福祉士協会編 / へるす出版 / ISBN 978-4-89269-443-1 /
『新精神医学ソーシャルワーク』	柏木昭編 / 岩崎学術出版社 / /

『心病める人たち』	石川信義 / 岩波書店 / /
『日本精神保健福祉士協会40年史』	社団法人日本精神保健福祉士協会編 / へるす出版 / /
『こころの病い 私たち100人の体験』	全国精神障害者団体連合会準備会・全国精神障害者家族会連合会編 / 中央法規 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

社団法人日本精神保健福祉士協会 <http://www.japsw.or.jp/>

その他 / Others

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

人生の途上で精神障害と出会った人が、その障害と向き合い価値ある人生を創造することを科学的に支援する取り組みが精神科リハビリテーションである。この授業では、統合失調症圏を中心に精神障害者の社会参加支援の実際についてふれ、精神障害の生活と支援をどう理解するのかを学び、精神科ソーシャルワーカーとして精神障害者のリハビリテーションに取り組む視座とスキルを明確にする。

## 到達目標 / Attainment Objectives

生活モデルに立脚しながら精神科リハビリテーションに取り組む専門職として精神科ソーシャルワーカーに求められる視座を育てる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

精神医学  
精神保健福祉援助技術総論・各論

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	オリエンテーション:精神科リハビリテーションと精神保健福祉支援の歴史	地域居住プログラム、退院患者クラブ
第2回	精神障害者の生活実態	生活困難状態 援助必要性
第3回	精神科リハビリテーションの対象 - 統合失調症圏を中心に -	精神障害 特性 認知の障害 統合の障害
第4回	精神科リハビリテーションの対象 - 統合失調症圏を中心に -	生活の仕方の障害 対人関係の障害 働くことの障害
第5回	精神科リハビリテーションの対象 - 神経症圏を中心に -	不安 自己尊厳 自己肯定
第6回	リハビリテーションの場とプロセス 病院、診療所 -	SST、デイケア
第7回	リハビリテーションの場とプロセス - 地域支援機関 -	保健所、危機、アウトリーチ コミュニティ
第8回	リハビリテーションの場とプロセス - 就労 -	過渡的雇用、雇用管理、ジョブコーチ
第9回	専門職としてのスタンス	場の力動 エンバワメント
第10回	長い入院とリハビリテーション-当事者へのアプローチ	院内寛解、認知障害、施設症
第11回	親へのアンビバレントな感情や行動とリハビリテーション-家族のアプローチ	EE、危機介入
第12回	地域での生活と支援	ハードな資源 ソフトな資源 当事者の役割 市民の役割
第13回	リハビリテーションとピアスタッフ	セルフヘルプ ピアスタッフ ピアアドボケーション
第14回	共同作業所実践が築いてきたリハビリテーションモデル	なかま 当事者観 フレンドシップ
第15回	試験	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	
日常点・その他	50 %	出席状況ならびに講義への積極的参加を評価する

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神科リハビリテーション学	日本精神保健福祉士養成校協会 / 中央法規 / 978-4-8058-2813-7 /
教科書は、精神科リハビリテーション学(後期開講科目と共通)	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神科リハビリテーションケースブック	野田文隆 寺田久子 / 医学書院 / 4-260-11883-8 C3047 /
精神障害リハビリテーション学	蜂谷英彦 岡上和夫 他 / 金剛出版 / 4-7724-0663-8 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others



担当者名 / Instructor 辻 正之

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「こころ」の働きやストレス、精神疾患、精神医療など「精神保健」の基礎論を学習します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

「精神保健の基礎となる知識を習得し、概念を理解して、それらを説明できる」水準への到達を目標に致しましょう。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回 4/10	科目のガイダンス	シラバス、「こころ」の働き、ストレス、精神疾患、診断分類、チーム医療
第2回 4/17	精神科診断(1) 最初の診察・面接	主訴、精神的現在症、問診
第3回 4/24	精神科診断(2) 精神症状	知覚、思考、感情、意欲・行動、表情、自我
第4回 5/1	統合失調症	妄想、幻覚、解体した会話と行動、感情の平板化、4A症状
第5回 5/8	躁うつ病 うつ病	感情障害、自殺念慮、日内変動、内因性、心因性
第6回 5/15	神経症 ICD-10の疾病分類	葛藤、不安、ICD-10
第7回 5/22	人格障害 思春期の精神障害	同一性、思春期心性、登校拒否、対人恐怖、摂食障害
第8回 5/29	老年期の精神障害	老化、対象喪失、老年期うつ病、認知症
第9回 6/5	特別講師「講義」：崔秀賢岩倉病院長	精神医療・精神科病院の歴史、開放医療、「病院」と「地域」
第10回6/12	「ストレス病棟」と職場のメンタルヘルス	ストレス病棟、うつ病、チーム医療
第11回6/19	精神療法	精神療法的態度、治療メカニズム、治療的变化、治療構造
第12回6/26	特別講師「講義」：橋本美恵子岩倉病院生活支援部課長	精神保健と予防、精神保健福祉法、障害者自立支援法、PSWの実際
第13回7/3	精神科薬物療法	向精神薬、プラセボ、作用要因、転移と逆転移
第14回7/10	精神保健スタッフに求められる技能 科目のまとめ	精神症状、効果的なコミュニケーション、BPRS、「到達目標」と「自己評価」
第15回7/17	最終講義日試験	multiple choice

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

テレビや新聞の精神医療・精神保健に関する報道などにも関心が持てれば更に良いと思います。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	35 %	
日常点・その他	65 %	授業時間内に書いて頂く簡単なレポートに対する評価に加えて、受講状況による加点を行ないません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

白紙の状態を受講して頂いて構いません。授業内で集中的に学習して下さい。

## 教科書 / Textbooks

テキストは用いません。必要時にレジュメなどを配布します。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ストレスうつ	徳永雄一郎 / 西日本新聞社 / / 特に第5,8,10回の授業内容の理解を深めたいときの参考書的新書です。
事例で学ぶSST	高柴哲次郎 / 日総研出版 / / 特に第3,4,14回の授業内容の理解を深めたいときの参考書です。

上記の2冊は気軽に読める参考書です。  
授業の理解にだけでなく、自分自身の健康維持にも役立つかもしれません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

岩倉病院 <http://www.iwakura-hp.net/>

不知火病院 <http://shiranui-byoin.or.jp>

福岡BPRS評価トレーニング協会 <http://www.dia-net.ne.jp/~bprs/home.htm>

その他 / Others

## 精神保健福祉の現状と課題 S § 精神保健福祉論III S

15283

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

精神障害者は、長い間にわたる隔離収容政策の下で地域で当たり前には生きる権利が奪われてきた。精神障害当事者の人権を保障する働き手となる際に必要な障害者観や実践観、さらに実践上の現状と課題をとりあげる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

精神保健福祉上の切実な要求を持つ人の人権を保障する為に必要な障害者観や実践観を理解し、政策や実践課題に関心を持つ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	精神障害者観と精神保健福祉の流れ	隔離収容政策 スティグマ パターナリズム
第2回	PSWと精神障害者の地域生活	危機 連携 包括的地域生活支援
第3回	パートナーとしてのPSW 実践の価値	パートナー フレンドシップライン
第4回	精神障害者と精神科医療	法34条 受療アクセス
第5回	精神障害者と精神科医療	社会的入院 施設症 当事者ニーズ
第6回	精神障害者と暮らしの場	家族 グループホーム ケアホーム
第7回	精神障害者といこいの場	なかま 自治 自律
第8回	精神障害者と就労	就労支援 ジョブコーチ 適応から参加
第9回	青年期の課題を持つ当事者達と支援	ひきこもり 摂食障害 リストカット
第10回	災害・事故の被害と支援	トラウマ PTSD 災害支援
第11回	触法精神障害者と回復支援	池田小学校事件 医療観察法
第12回	他の精神保健福祉ニーズを持つ人の生活と支援	薬害HIV 遺族
第13回	当事者からの発言	薬害HIV遺族
第14回	当事者からの発言	統合失調症 ひきこもり
第15回	試験	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	最終講義日に試験に代わるレポート課題を提起し、即日作成。
日常点・その他	50 %	講義は、議論を重視する。積極的に議論に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

欠席等で入手できなかった配布資料は自己責任で入手すること。  
精神障害者に関わる議論すべき事例が生じた時には講義計画を変更する。

## 教科書 / Textbooks

教科書は特に定めないが、講義内で紹介した書籍には必ず目を通すこと

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神障害をもつ人が地域でくらししていくために - 介護保険統合論と、求められる社会的支援	山本耕平 / かがわ出版 / 4-87699-840-x /
障害者のくらしはまもれるか	中内福成、植田章、田中智子、井上泰司、峰島厚、山本耕平 / かがわ出版 / 4-7803-0047-9 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

担当者名 / Instructor 泉 洋一

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

障害者福祉の理念と意義をふまえて精神障害者福祉に関する法律や施策・制度について学び、日本の精神障害者問題の現状と課題についての考察を深めるとともに、これからの精神保健福祉を展望する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

障害者福祉の理念と意義について理解し、精神保健福祉施策の現状と課題を整理する過程を経て、これらの施策が精神障害者の生活に及ぼす影響を具体的に説明することができる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入講義「精神障害者問題について」	疾病と障害の共存、生活障害と生活問題
第2回	障害者福祉の理念と意義	ノーマライゼーション、発達保障、ICF
第3回	精神障害者福祉の歴史と理念	精神病者の時代、私宅監置から精神病院法まで
第4回	精神障害者福祉の歴史と理念	精神衛生法から精神保健法まで
第5回	精神障害者福祉の歴史と理念	障害者基本法から精神保健福祉法まで
第6回	精神保健福祉の現状と課題	国際比較からみた日本の現状
第7回	精神保健福祉の現状と課題	国際比較から日本の精神保健福祉の課題を考える
第8回	精神保健福祉法の概要	入院・移送制度と権利擁護について
第9回	精神保健福祉法の概要	手帳制度および精神保健福祉士法などの関連法規
第10回	精神障害者福祉の基本施策	精神保健福祉行政について
第11回	精神障害者福祉の基本施策	精神医療および精神保健施策の現状と課題
第12回	精神障害者福祉の基本施策	社会復帰対策から地域生活支援へ
第13回	精神障害者福祉の基本施策	障害者自立支援法と精神障害者の生活
第14回	総括講義「これからの精神保健福祉」	新たな生活支援、クラブハウスモデルの実践

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

テキスト・参考書を読むことが学習の第一歩となる。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	
日常点・その他	20 %	出席状況と受講態度

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

講義に出席し、積極的に質問すること。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『精神保健福祉論』精神保健福祉士養成セミナー改訂第3版第4巻	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 / へるす出版 / ISBN4-89269-524-6 /
教科書を必ず購入すること。	

**参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『戦後精神保健行政と精神病者の生活』精神保健福祉序論	岡村正幸 / 法律文化社 / /
『日本精神科医療史』	岡田靖雄 / 医学書院 / /
『心の病と社会復帰』	蜂矢英彦 / 岩波書店 / /
『我が国の精神保健福祉』平成16年版	精神保健福祉研究会監修 / 太陽美術 / /
『障害者自立支援法』地域生活支援の今後と精神保健福祉士の実践課題	日本精神保健福祉士協会編 / へるす出版 / /

『立法百年史 - 精神保健・医療・福祉関連法規 広田伊蘇夫 / 批評社 / ISBN 4-8265-0403-9 /  
の立法史』

---

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

社団法人日本精神保健福祉士協会 <http://www.japsw.or.jp/>

**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 知名 純子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

本講義では、社会福祉援助(ソーシャルワーク)に必要な援助技術の基礎を習得することを目的とする。ソーシャルワークの基本的な考え方や、実践に必要な理論を学び、演習を用いることで実践力の形成を図りたい。

**到達目標 / Attainment Objectives**

援助技術を習得する上で前提となる自己覚知、他者理解、コミュニケーションについて理解し、ソーシャルワークの理論、実践のプロセスと方法について述べることができる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

社会福祉士課程の指定科目を可能なかぎり履修しておくことが望ましい。

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ソーシャルワークとは	定義、目的、価値と倫理、本質
第2回	ソーシャルワークの分野	家庭、地域、学校、保健医療
第3回	ソーシャルワークの基本的な考え方	エコロジカルアプローチ、システムアプローチ
第4回	ソーシャルワークの技法	ケースマネジメント、カウンセリング、家族療法
第5回	ソーシャルワークの技法	面接、観察、記録
第6回	ソーシャルワークの展開	インテーク、アセスメント、プランニング、モニタリング
第7回	家族ソーシャルワーク	家族力動のアセスメントとプランニング
第8回	グループワークとは	目的、メンバーの選択、準備
第9回	グループへの介入	グループの発展段階、構造 個人・環境への介入
第10回	グループワークの評価と終結	評価の重要性、終結の重要性
第11回	コミュニティワークの理論と展開	間接的援助技術、インフォーマルな資源
第12回	コミュニティワークの実際	身近な社会資源、地域での取り組みの例
第13回	まとめ	
第14回	予備日	
第15回	試験日	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	各回の内容を的確に理解し自分の言葉で説明できるか、及び課題の事例に対して実際に活用できるか、についてペーパー試験を行う(試験時間:1時間)。
日常点・その他	30 %	コミュニケーション・ペーパー及び、授業中のミニ課題によって理解度を確認する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

特に指定しません

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

日本社会福祉士会 <http://www.jacsw.or.jp/>

**その他 / Others**

## 福祉発達史 S

12906

担当者名 / Instructor 太谷 亜由美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本講義ではヨーロッパの福祉の発達を中心に、福祉の発達を考察する。福祉の実践として一番歴史の古いものは貧困の救済である。そこで、いかにして一般の人々の貧困の救済が国の責任となっていったかを辿るが、その過程は決して簡単な楽な道程ではなかった。早い時期から貧困対策を行ってきたイギリスも同様である。そこには階級格差があり、一般の労働者達が人間らしい暮らしを送るには何百年もの時間を要した。中流階級以下の労働者が政治的に力を持ち、「ナショナル・ミニマム(国民最低限)」の保障を得るようになったのは20世紀に入ってからのことである。時代の変化と共に変貌してきた福祉は、現在ではなくてはならないものであり、当たり前のものとされているが、一方では経済の停滞と共に後退を余儀なくされている。福祉の歴史を単なる「過去の出来事」として捉えるのではなく、人々の大きな要求のうねりが生み出してきた足跡として辿りたい。そしてまた、福祉は現在の我々の要求によりその形をいかようにも変えるものであるということを感じ取って頂きたい。同時に人が社会で生きていく上で、社会保障や社会福祉がどれ程重要なものであるか実感して頂きたい。講義では福祉の発達について、国・経済という大きな存在と一般個人とがどのようにかかわってきたかを中心にみなさんと一緒に考えていきたい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

社会福祉に対する国の役割を捉え、また社会福祉は個人にとって社会で生活する上で不可欠なものであり、かつ、改善するには国民全体の努力が必要であることを認識できるように、講義を通じ考える力を持つ事

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

ヨーロッパ史を履修していれば理解に役立ちます。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総括的導入 国が福祉にかかわる以前、福祉はどのように行われていたのか	個人の福祉
第2回	ヨーロッパにおける中世紀までの貧困の救済	地縁・血縁・相互扶助
第3回	イギリス救貧法の生成過程 1	チューダー朝
第4回	イギリス救貧法の生成過程 2	救貧関連法
第5回	イギリス救貧法の成立	エリザベス救貧法
第6回	スチュワート王朝期における救貧法の変容	中央集権的救貧行政
第7回	市民革命期・産業革命期の福祉 - 貧民の有利な雇用論	資本主義の勃興期
第8回	市民革命期・産業革命期の福祉 - 救貧法の人道化	ギルバート・スピーナムランド体制
第9回	新救貧法の成立	自由放任主義と安価な政府
第10回	新救貧法の目的と評価	被救恤窮民
第11回	19世紀末の民間における福祉の実践	慈善と相互扶助
第12回	19世紀末から20世紀初頭の福祉の展開 1	科学的貧困調査
第13回	19世紀末から20世紀初頭の福祉の展開 2	リベラル・レフォーム
第14回	大恐慌期から1940年代の「福祉国家」の生成 1	国民保険法
第15回	大恐慌期から1940年代の「福祉国家」の生成 2	ベヴァリッジ報告

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

講義の際、配布するレジュメを必ず入手し、それによって講義の流れをつかむこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	100 %	設問に対して、必要な用語を用い適切な論述ができているかどうかを評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

単なる歴史の学習ではなく、一般の市民がどのようにして福祉を手に入れていったのか、人々の生活の改善がどのようにして行われたかについて学んで頂きたい。

## 教科書 / Textbooks

教科書は使用いたしません。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「社会福祉の歴史」	高島進氏 / ミネルヴァ書房 / /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

私語等は講義の妨げになりますので厳禁です。



## 臨床精神医学 S § 精神医学II S

15238

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

前期の精神医学 Sにつづいて、精神医学の主要な疾患について、その症状が経過および原因さらには治療法をできるだけわかりやすく論じる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

この精神疾患の症状の成り立ち、症状の把握、治療法概略などに関する知識の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期の精神医学 Sおよび精神リハビリテーション学も受講することが望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	器質性精神障害論	
第2回	器質性精神障害論	
第3回	統合失調症論	
第4回	統合失調症論	
第5回	統合失調症論	
第6回	気分障害論	
第7回	気分障害論	
第8回	不安性障害論	
第9回	不安性障害論	
第10回	解離性障害論	
第11回	児童期の精神障害	
第12回	児童期の精神障害	
第13回	青年期の精神障害	
第14回	精神医学治療総論	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	100 %	定期試験の成績により、判定を行う

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神医学	精神保健福祉士養成セミナー / へるす出版 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SA § 人間福祉演習III SA

16306

担当者名 / Instructor 津止 正敏

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ~」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SB § 人間福祉演習III SB

16308

担当者名 / Instructor 井上 公子

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ～」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SC § 人間福祉演習III SC

16310

担当者名 / Instructor 竹村 忠憲

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ～」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SD § 人間福祉演習III SD

16312

担当者名 / Instructor 廣末 利弥

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ~」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

担当者名 / Instructor 池添 素

単位数 / Credit 4

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

**到達目標 / Attainment Objectives**

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ～」の履修が望まれる。

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

## 社会福祉援助技術演習 SF § 人間福祉演習III SF

16316

担当者名 / Instructor 山田 尋志

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ～」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的に行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SG § 人間福祉演習III SG

16318

担当者名 / Instructor 西村 清忠

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ～」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others



## 社会福祉援助技術演習 SH § 人間福祉演習III SH

16320

担当者名 / Instructor 生田 正幸

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ~」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

## 社会福祉援助技術演習 SI § 人間福祉演習III SI

16322

担当者名 / Instructor 松井 信也

単位数 / Credit 4

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「社会福祉援助技術実習指導」「同」「社会福祉援助技術現場実習」と連動する。前期では実習の事前学習、後期では実習後の振り返り学習を中心に行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

(前期)

- ・実習先に関する十分な事前学習
- ・実習分野に関する問題状況の十分な理解
- ・実習分野に関係する制度・政策の十分な理解

(後期)

- ・実習に関する総括
- ・社会福祉実践に対する十分な理解と認識
- ・実習先に関する十分な理解と認識
- ・福祉問題に関する十分な理解
- ・福祉制度・政策の十分な理解

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

本科目の履修にあたり、「社会福祉援助技術実習指導」の履修は必須となる。  
なお、あわせて「社会福祉援助技術論 ~」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	演習初日に指示する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的にに行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

この授業はあらかじめクラス指定があるため科目登録の際は注意すること。実習の事前・事後学習として、この科目の履修が非常に重要であるため、毎回必ず出席すること。出席状況等に問題がある場合は、現場実習を履修できない(受験資格を取得できない)ことがあるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## その他 / Others

社会福祉援助技術演習 SJ § 人間福祉演習 SJ

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

## 社会福祉援助技術実習指導I S § 社会福祉援助技術実習指導I S

12280

担当者名 / Instructor 生田 正幸

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するために履修しなければならない実習関連科目（3年次の「社会福祉援助技術現場実習」を中心とした「社会福祉援助技術現場実習」（2年次後期）、「社会福祉援助技術現場実習」「同」、「人間福祉演習」（3年次通年））のひとつとして、社会福祉現場の基礎及び実習への取り組みについて学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・現場実習に向けた問題意識の明確化
- ・実習に関する課題の整理
- ・実習先(領域)の決定

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

- ・社会福祉士課程の必須科目。
- ・本科目の履修が、3年次の「社会福祉援助技術現場実習」の必要条件となる。
- ・2年次に本科目とあわせて「社会福祉援助技術論」「同」の履修が望まれる。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	・大教室での講義と小クラスでの演習、個別面談により授業を進める。	
	・施設見学実習、実習報告会など授業日程を変更する場合があります。	
1	オリエンテーション	
2	社会福祉現場について知る	
3	社会福祉現場について知る	
4	社会福祉現場について知る	
5	社会福祉現場について知る	
6	社会福祉現場について知る (施設見学)	
7	小クラス(演習)	
8	小クラス(演習)	
9	小クラス(演習)	
10	ガイダンス(実習先の決め方)	
11	実習報告会	
12	小クラス(演習)	
13	小クラス(演習)	
14	実習先決定のための個別ヒアリング / 社会福祉士基礎	
15	実習先決定のための個別ヒアリング / 社会福祉士基礎	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

- ・社会福祉施設や機関の見学やボランティア活動などを積極的に行い、自主的に問題意識を深めることが望まれる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

日常点評価は、ガイダンスや授業への出席、レポート等必要書類の提出をもって厳しく行う。欠席1回1点、遅刻0.5点、提出なし1点、提出遅れ0.5点で減点を行い、5点以上減点となった場合、機械的に不合格となるので注意すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「ソーシャルワーク実習」	岡田まり他編 / 有斐閣 / 4-641-05541-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

## 精神保健福祉援助技術各論Ⅰ § 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ

12986

担当者名 / Instructor 知名 純子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本講義では、精神障害者を対象とした直接援助技術(ケースワーク、グループワーク)について学び、援助技術を習得することを目的とする。講義では、直接援助技術の実践に必要な理論を学び、演習によってこれを体験することで、社会福祉援助活動について総合的に理解する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・直接援助技術の理論、技法、展開について説明できる
- ・習得した知識を実践に応用できる

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

社会福祉、精神保健福祉の必修科目を履修しているか、その知識があることを前提とする。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ソーシャルワークの周辺理論	交流分析、防衛機制
第2回	精神障害者を対象としたケースワーク	面接の意味と目的
第3回	精神障害者を対象としたケースワーク	面接技法
第4回	精神障害者を対象としたケースワーク	記録の内容
第5回	精神障害者を対象としたケースワークの展開	インテーク、アセスメント
第6回	精神障害者を対象としたケースワークの展開	プランニング、モニタリング、評価
第7回	事例検討	ケアマネジメント計画
第8回	精神障害者を対象としたグループワーク	歴史、目的
第9回	精神障害者を対象としたグループワーク	メンバーの選択、グループワークの準備
第10回	精神障害者を対象としたグループワーク	グループワークの始め方、規範の形成
第11回	グループの発展段階と構造	発展の5段階
第12回	グループへの介入、評価、終結	個人・環境への介入、グループの葛藤
第13回	まとめ	
第14回	予備日	
第15回	試験日	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	各回の内容を的確に理解し自分の言葉で説明できるか、及び課題の事例に対して実際に活用できるか、についてペーパー試験を行う(試験時間:1時間)。
日常点・その他	30 %	コミュニケーション・ペーパー及び、授業中のミニ課題によって理解度を確認する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

精神保健福祉・精神障害者福祉に関するホームページ <http://www.005.upp.so-net.ne.jp/smtm/>  
日本精神保健福祉士協会 <http://www.mmjp.or.jp/psw/>

## その他 / Others

## 精神保健福祉コミュニティワークⅠ § 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ S

15311

担当者名 / Instructor 知名 純子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本講義では、精神障害者の生活支援を行うにあたって基本となる個別援助技術、集団援助技術を踏まえたうえで、コミュニティワークの実践の質をより深めるために必要な間接援助技術やその他関連援助技術のあり方について学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・間接援助技術の理論、技法、展開について説明できる
- ・習得した知識を実践に応用できる

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

社会福祉、精神保健福祉科目を履修しているか、その知識があることを前提とする。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	コミュニティワークとは	時代に応じた概念の変化
第2回	精神障害者を対象とした地域援助技術	ソーシャルワーク・リサーチ
第3回	間接援助技術の内容と機能	ソーシャル・プランニング
第4回	関連専門援助技術について	心理療法、家族療法、面接技法
第5回	地域福祉の枠組み	地域福祉をめぐる考え方の違い
第6回	これからの地域福祉	ボランティア活動、セルフヘルプグループへの支援
第7回	コミュニティワークの理論 コミュニティ・ディベロップメント	イネープリング、セツルメントとパターンリズム、ラジカル・ワーカー
第8回	コミュニティワークの理論 ポリティカル・エンパワメント	多元的世界観、マイノリティの参加と社会の安定
第9回	コミュニティワークの理論 プランニング	新しいプランニング理論
第10回	コミュニティワークの理論 プログラム・ディベロップメント	インターグループワーク、多元主義と資源配分
第11回	コミュニティワークの理論 コミュニティ・リエゾン	ボランティアリズム、当事者参加促進策
第12回	コミュニティワークの将来	理論のまとめ、社会変革の理想
第13回	まとめ	
第14回	予備日	
第15回	試験日	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	各回の内容を的確に理解し自分の言葉で説明できるか、及び課題の事例に対して実際に活用できるか、についてペーパー試験を行う(試験時間:1時間)。
日常点・その他	30 %	コミュニケーション・ペーパー及び、授業中のミニ課題によって理解度を確認する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

精神保健福祉・精神障害者福祉に関するホームページ <http://www.005.upp.so-net.ne.jp/smtm/>  
 日本精神保健福祉士協会 <http://www.mmjp.or.jp/psw/>

## その他 / Others